

インクルーシブな遊具広場に関する 特別支援学校等アンケート

2022/12/1

概要

回答者の属性 . . . 3

公園への関心 . . . 8

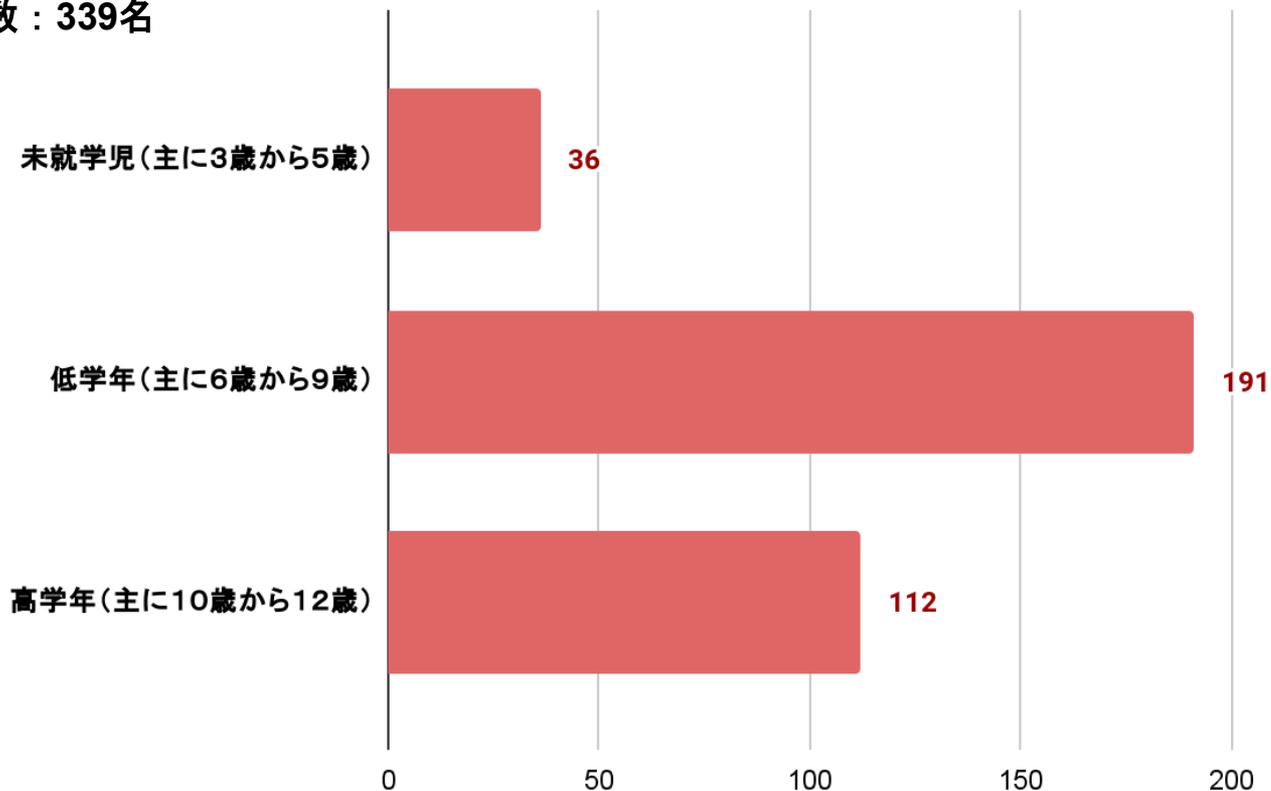
遊び場に関して . . . 15

回答者の属性

回答者の属性

■ お子様の年齢を教えてください。

総回答数：339名

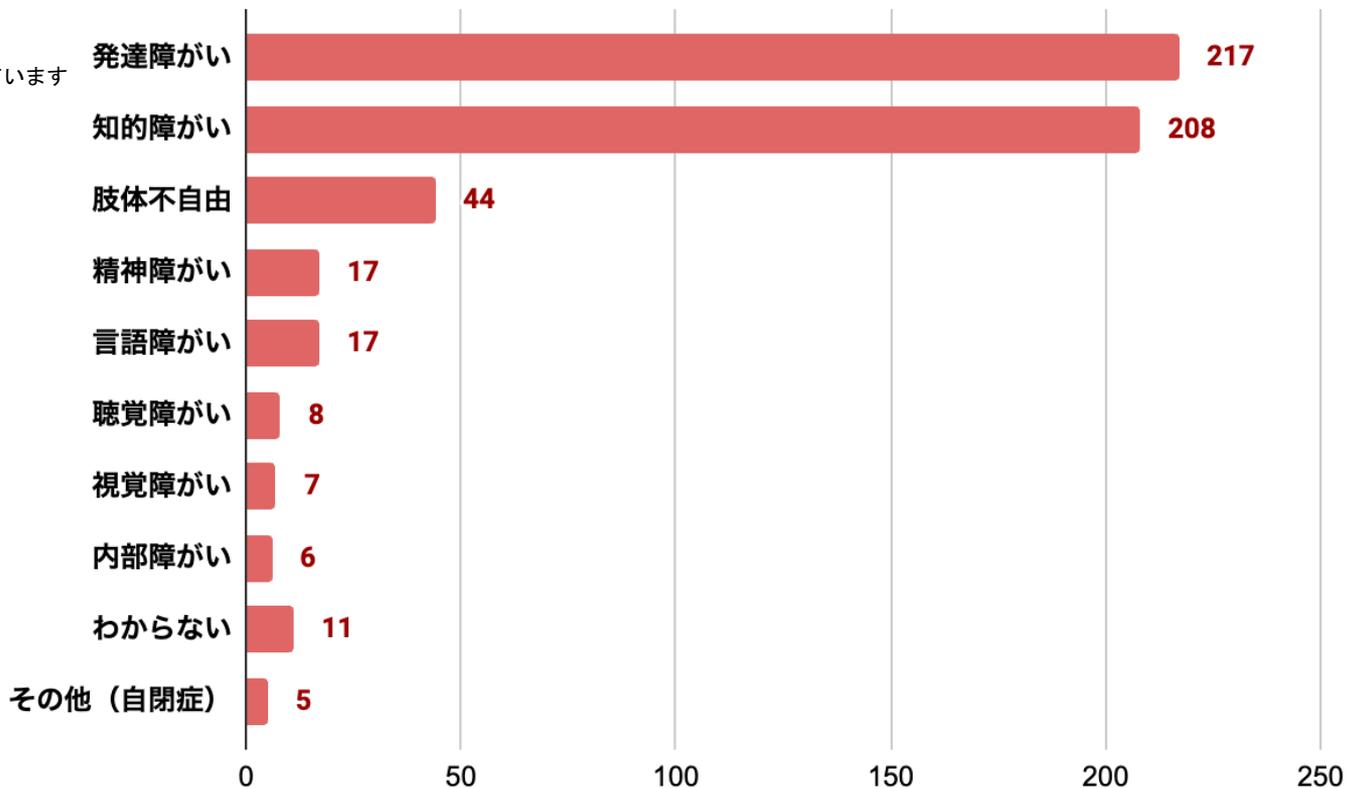


回答者の属性

■ お子様の障がいの種別を教えてください。（複数回答可）

総回答数：339名

※障がいを併発している場合は、
障害ごとにダブルカウントしています



■ お子様の障がいの種別を教えてください。（複数回答可）

1つの障がいを持つ	人数
発達障がい	85
知的障がい	63
肢体不自由	14
精神障がい	3
視覚障がい	2
内部障がい	1
わからない	10

2つの障がいを持つ	人数
発達障がい, 知的障がい	98
肢体不自由, 知的障がい	15
発達障がい, 精神障がい	4
肢体不自由, 発達障がい	3
知的障がい, 精神障がい	3
知的障がい, 聴覚障がい	3
発達障がい, 言語障がい	2
知的障がい, 内部障がい	2
発達障がい, 内部障がい	2
知的障がい, 言語障がい	2
知的障がい, 自閉症	1
発達障がい, 自閉症	1
肢体不自由, わからない	1
発達障がい, わからない	1

回答者の属性

■ お子様の障がいの種別を教えてください。（複数回答可）

3つの障がいを持つ	人数
肢体不自由, 発達障がい, 知的障がい	4
発達障がい, 知的障がい, 言語障がい	4
肢体不自由, 知的障がい, 言語障がい	2
発達障がい, 精神障がい, 聴覚障がい	1
肢体不自由, 知的障がい, 精神障がい	1
肢体不自由, 知的障がい, 視覚障がい	1
発達障がい, 知的障がい, 精神障がい	1

4つの障がいを持つ	人数
発達障がい, 知的障がい, 精神障がい, 聴覚障がい	2
発達障がい, 知的障がい, 言語障がい, 自閉症	1
発達障がい, 知的障がい, 精神障がい, 言語障がい	1
肢体不自由, 発達障がい, 視覚障がい, 言語障がい	1
発達障がい, 知的障がい, 聴覚障がい, 言語障がい	1
発達障がい, 知的障がい, 視覚障がい, 言語障がい	1
発達障がい, 知的障がい, 精神障がい, 視覚障がい	1
肢体不自由, 発達障がい, 知的障がい, 言語障がい	1

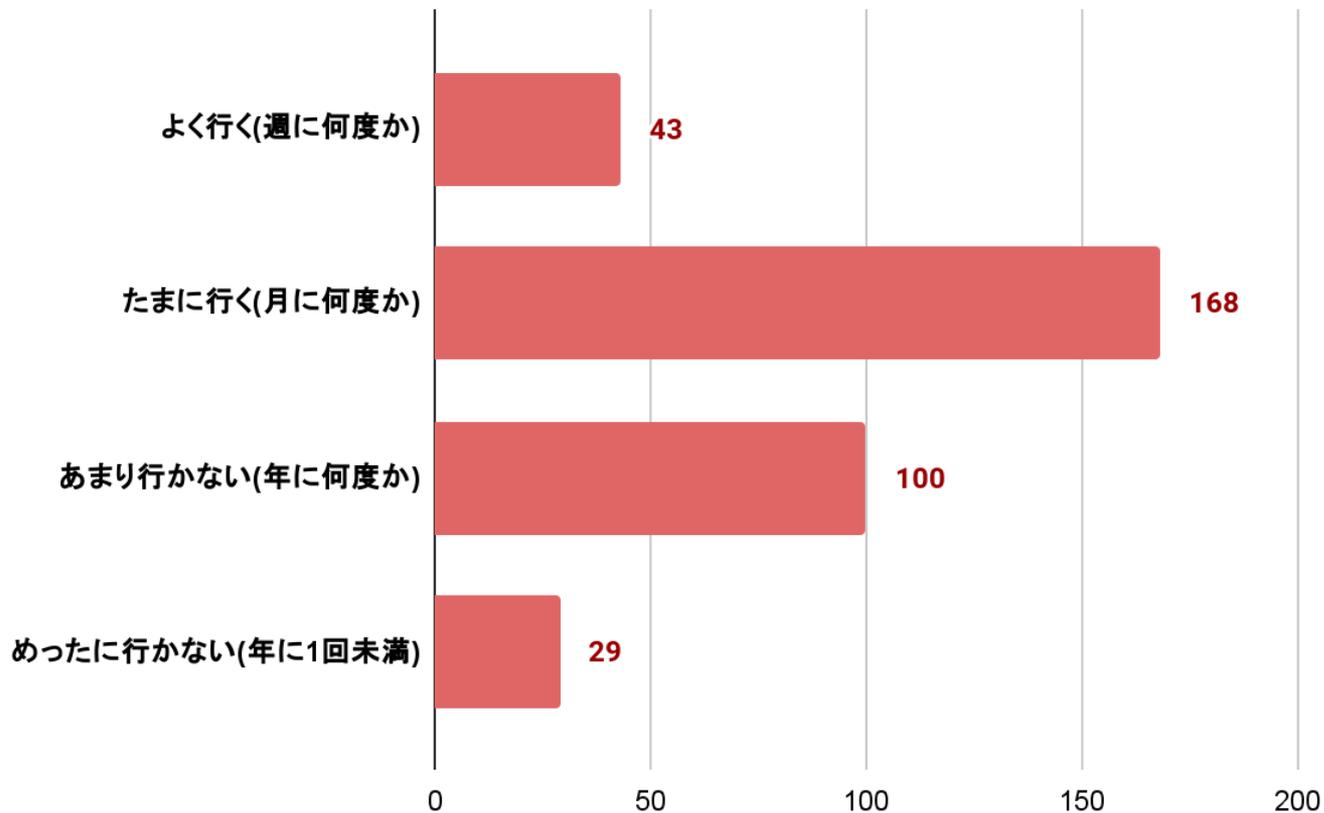
5つの障がいを持つ	人数
なし	

6つの障がいを持つ	人数
肢体不自由, 発達障がい, 知的障がい, 精神障がい, 視覚障がい, 聴覚障がい, 言語障がい, 内部障がい	1

公園への関心

公園への関心

■ お子様と普段どの程度の頻度で公園に遊びに行くか教えてください。

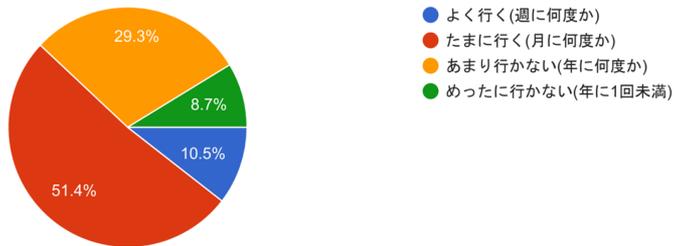


公園への関心 他のアンケートとの比較

障がいのある子は健常児よりも公園に行く機会が少ない

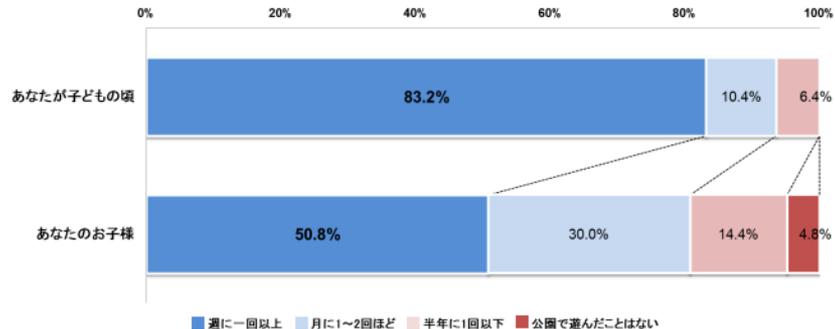
お子様と普段どの程度の頻度で公園に遊びに行くか教えてください。

276 件の回答



今回のアンケート

Q. あなたが子どもの頃、公園で遊んでいた頻度はどのくらいですか。また、あなたのお子様は公園で遊ぶ頻度はどのくらいですか。



定型発達児対象の別アンケート結果（株式会社ボーネルンド）

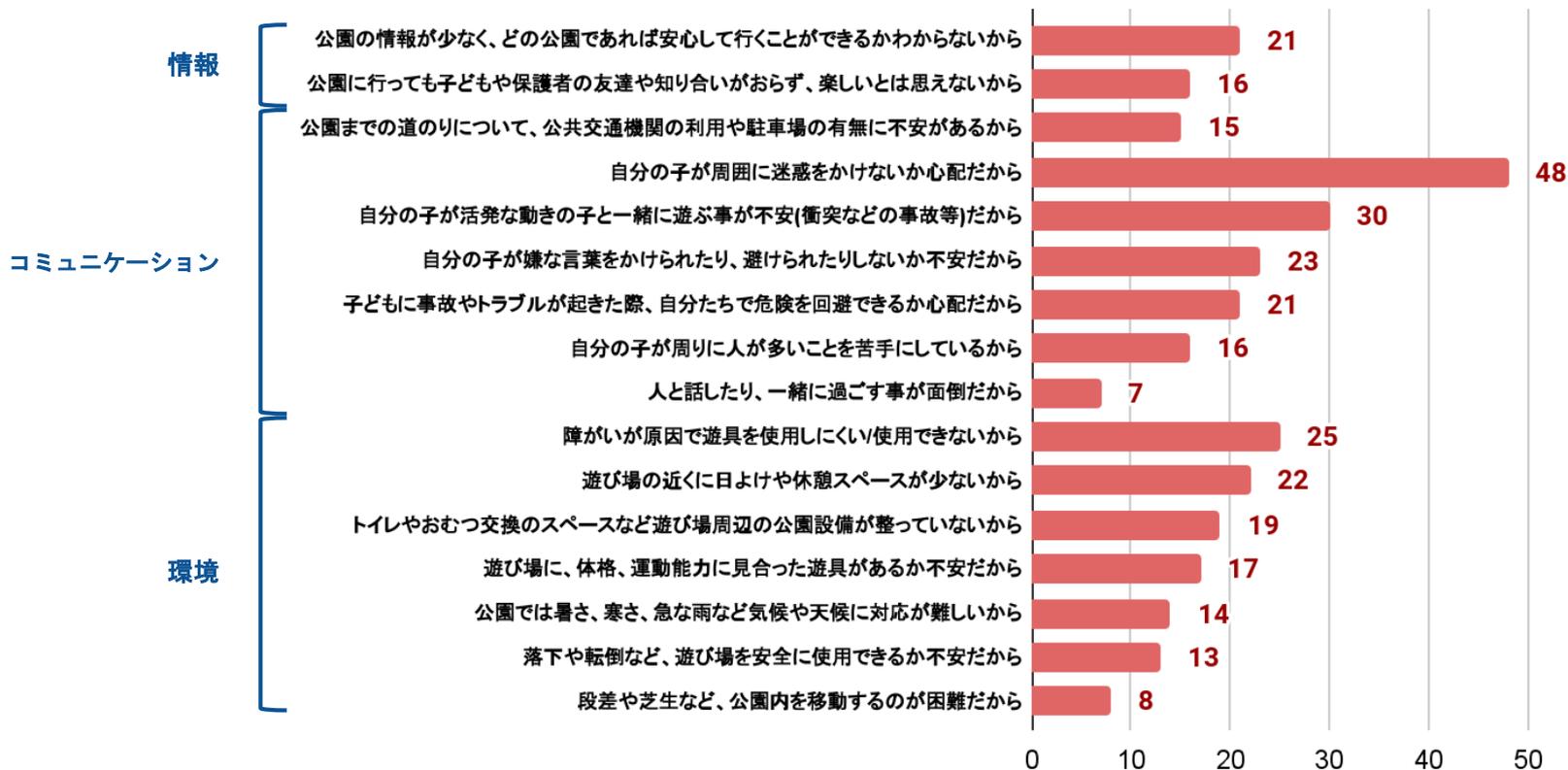
<https://www.bornelund.co.jp/contents/uploads/sites/2/2017/04/d9d41f0cb72b4d470ee07db1f6a68c60.pdf>

	主に障がい児を対象とした 本アンケート	主に健常児を対象とした ボーネルンド社アンケート
よく行く(週に1回以上)	10.5	50.8
たまに行く(月に1~2回ほど)	51.4	30.0
あまり行かない(半年に1回以下)	29.3	14.4
めったに行かない	8.7	4.8

単位 (%)

■公園にあまり行かない、めったに行かない理由を全て教えてください。（複数回答可）

※公園にあまり行かない、めったに行かないと答えた人に対して



■ 情報に関して

- ・ 障がいのある子や保護者向けに、公園の情報だけでなく、楽しさを伝えていく必要もある
- ・ 健常者側に対して、公園の理念などを情報発信し、伝えていく必要がある
- ・ 整備する側も、「障がい」について知る必要がある

公園に行っても本人が楽しめないため。外遊びがあまり好きではない。

遊んでいる時も子どもや保護者が危険がないように考えたり、行動したりできるように情報が共有されればいいと思います。

どのような障がいを持っている子がいるかを知って下さい。その上で広場作りを検討して行ってください。

健常者や介護を知らない多数派の人々に、多様性や介護を理解してもらう為のデザイン。『看板・標識・電子パネル』等が無い。理解が追いつかない特性を持った人にも届けるデザインが地球上の全ての公園に必要です。

『見た目が大きく違う人間の造り』があることへの驚きと、それにどう接すればよいのかの見本が無い。それゆえに、『見て見ぬ振り』や『目線を逸らす』が多く、『温かな微笑みを一番必要としている』という認知が、社会全体に少ない気がしています。

病院ですら、生まれてすぐに早く家に帰すことに躍起になっており、家庭以外に、社会のどこにも居場所が無い。

病院は命は繋ぐが、その後の母子へのサポートは皆無です。

どんなに素敵な遊具を作っても、何かしらのデザインによって『共通理解・相互理解を届けようとし続けない公園』は、多様性を抱えて生きる家族には利用しづらく、インクルーシブな遊具広場として成立することはないでしょう。アンケートによる『傾聴』に心から感謝します。

『自信を持って公園』近い将来、兄弟児も一緒に安心して通える公園が出来ることを楽しみにしています。

■コミュニケーションに関して

- ・ 健常児と障がい児の交流に不安を持つ保護者は多い
- ・ ルールなどを可視化し、健常児、障がい児ともにルールを分かり易く伝える工夫が必要
- ・ コミュニケーションを取る場だけでなく、取らなくても良い場も必要

息子はダウン症です。他害行為があり、滑り台など順番待ちをする時、前後にいるお友達を叩く、髪をひっぱるなどしてしまいます。それを防ぐために私も一緒に滑り台に登り滑るようにしていますが、たくさんのお友達が順番待ちをしていたり、そもそも小さい滑り台などは親が登るのが難しい場合もあります。大人も一緒に滑ることができる大きな滑り台など（箱崎公園にあるような）が増えるといいなと思います。

障害がある子どもでも遊びやすい遊具があるのは良い。

本当の意味で共存共栄の第一歩になれば良い。

遊びやすい遊具&行きやすい場所だけど、実際に健常者の方々と同じ目線で活用しやすいかどうかは別。

いつも思うのはインクルーシブと掲げていても一般の人達には浸透していません。

発達障害などで他害や自傷がある子、ルールが守れない子がいるご家庭ならばお互い様だし、むしろ共感もできるんだけど、中には理解のない人、心無い言葉を使う人が居るのも事実。

避けられて自分たちの周りから人が居なくなる事もあり、それを『貸し切りだ！ヤッホー！』とは喜べません。そういう人の目を気にしながら、我が子が他害行動に出ないようにと一瞬一瞬を見逃さないように気を張らないといけないから遊びに付き合う以上の疲労があるもんです。ただ、どういう障害があるんであれ社会参加は必須とっているので個人的に模索しております。

定型発達のお子さんとのトラブル（遊具の順番待ちなどのルールを暗に理解できない等）がおこりやすく、常に自分の子供の側についていないといけないことが、親にとってとても負担に感じられ、放課後等デイサービスでの活動の中での公園遊びに頼りがちです。

私の子供は見た目では定型ではないことがわかるので、定型発達のお子さんからの視線も気になり、余計に足が遠のきます。

■ 環境に関して

- ・ 遊具だけを整備しても解決しない部分が多い事に注意する
- ・ 見守りやすい、介助をしやすい環境を整備する事が必要である
- ・ 多様な過ごし方が実現できる環境である事が必要である

普通の公園だとまともに遊べない。

そもそも公園へ連れて行くことが大変です。

(歩行はできますが、極端に歩行を嫌がるので、基本的に車椅子移動です。)

知的障がいの中でも最重度であり、身体障がい者手帳も取得するレベルの身体能力であるため、登れない遊具も多く、保護者が完全に付きっきりになります。そのため、体力的にも辛いものがあります。知的には1歳後半ですが、体の大きさは小6より少し小さいぐらいなので、色々とバランスが取れず、遊具で遊ぶにはかなり労力が必要です。

芝生など広場があるとありがたいのですが、歩行が苦手な子どもは走り回るには危険も多かったり、水はけが悪いとより危険が伴います。完全にフラットにしていただけるとありがたいです。

寝そべて過ごすことがすきなので室内遊びが多い、公園で寝そべるなら公園に行きたい

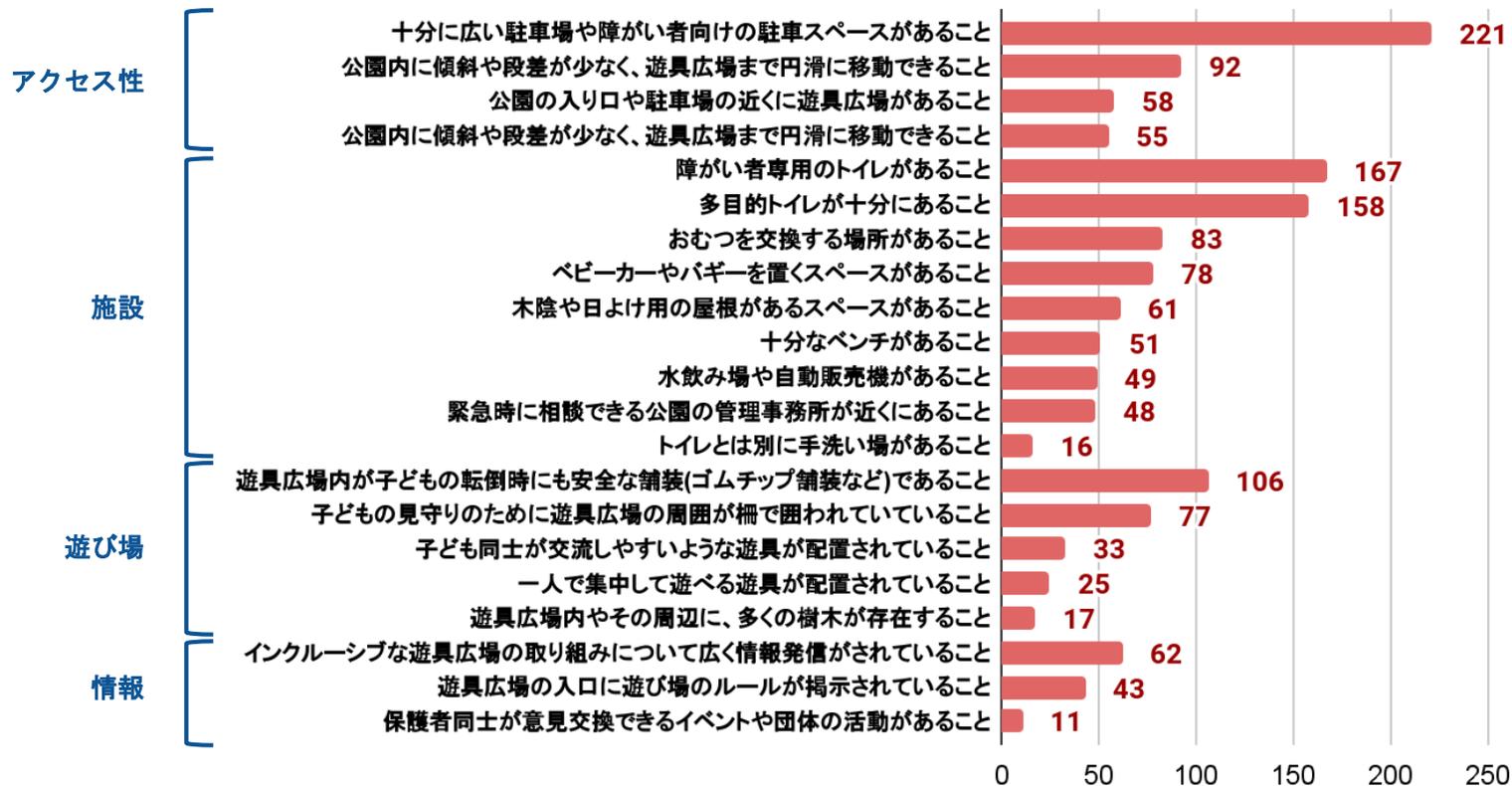
障害者のトイレも多目的トイレも十分な数が必要だと思いますし、管理事務所も遊具広場の側にあることが望ましいと思います。障害がある子供も気軽に公園でのびのびと遊ぶことができると本当にうれしいです。

目が離せないくらい動き回るので大変

行方不明にならない為の柵などあったり、その柵付近にお茶飲み休憩できるベンチが周りにもっと沢山あったり、テーブルと椅子などあればゆったり過ごせるのと、死角が少ない遊具の置き方に工夫があれば。

遊び場に関して

■ 誰もが遊べるインクルーシブな遊具広場にとって必要と思われる要素を、最大で5つお選びください。



■アクセシビリティ

- ・ 多くの人々が来やすい立地条件の公園を選定する必要がある
- ・ 多様な来園手段がある事が必要。徒歩、公共交通機関、車など
- ・ 駐車場がある事が大切だが、満車の対策や広めの身障者スペースの確保などが必要
- ・ 駐車場から遊び場まではできるだけ近い距離と刷る事が必要
- ・ 遊び場までの園路はバリアフリーが前提の上で、手すりなどの配慮も必要

車いすで通りやすい遊歩道や、杖を使っての歩行や手すりの設置された遊具があれば娘も利用したいです

歩いて行ける広くて大きな公園がない

バギー(子供用車椅子)に乗っているのですが、ほんの小さな段差や舗装されていない道などが障害になり、公園には行きづらく感じます

駐車場が遠い公園が多く、重度知的で多動の子供を連れていくのが大変すぎる

夏は水遊びができる公園があると行くと思います。那珂川、桧原の川など満車で入れない

駐車場は、福祉車両ハイエースなどの車高車幅でも入られると助かります

■施設

- ・ トイレに関する要望が非常に多い。
 - 単に多目的トイレを設置すれば要望が叶うという訳ではない
 - 明るく清潔で入りやすい（防犯上の観点でも）
 - 大人も使用できるサイズのオムツ交換用ベッド
 - 性別に関わらず介助者も入りやすい
 - 利用状況によって多目的トイレの数量の考慮する
- ・ 休憩できる屋内施設が近いと安心感がある

医療的ケアが出来る場所(広い身障者トイレ等)がない

肢体不自由の子どもがオムツ交換できるベッドがある多目的トイレや、オムツ交換に使える部屋

おむつがまだ外れていない、狭い個室を怖がる、便器に座れない等の問題があるため多目的トイレ（みんなのトイレ）が充実している公園は大変助かります。また、公園の木のかげや人目に付きにくい場所にトイレがあると使いづらく怖いので、見通しが良い場所にあると嬉しいです

水遊びの場所がある場合は、着替えができる場所があると安心。親と子どもの性別が違くと、性別で更衣室が分かれていると利用できないので、介助者と障がい者が一緒に入ることができると、余暇活動の場が広がる

喫茶店など休憩できる場所

■遊び場

- ・ユニバーサルデザインの遊具も取り入れる事は必要
- ・遊具や遊びに関する要望は多種に渡る。特定の難度や分野に偏らず、多様な遊びを用意する
- ・動線の交錯などによる衝突やストレスを避けるため、スペースに余裕のある適切な配置をする
- ・遊び場が囲われている事を要望する方は非常に多い。

肢体不自由の子どもが1人で乗れる遊具がないため

現在、どこの公園も似たような遊具が多いな一と印象。安全性からか、回転するものとか、木登りとか木の下に隠れるような秘密基地とか昔あった遊具はなくて、子どもが考えながら何かを作った遊びが減ってる感じがある。怪我をしないことも大切だが、怪我をすることで体の使い方もわかるから、多少のチャレンジが必要になる子どもの自立を促すような遊具も必要に感じる。

単純な遊具(滑る、乗って揺れるなど)は知的に障害があっても自分で遊びやすいのでひとつの公園に数種類あると嬉しい。

様々な遊具を準備して、様々な年齢や健康のレベルの子が遊べる場所を準備して下さい。

できればあらゆる子どもと一緒に遊べる環境を望みますが、子どもの特性も様々で遊びや遊具にもよると思うので回答が難しいです。ぶつかってケガをするようなことがないように遊具によって適切な配置がされるといいです

障がいのある長男(8歳)は手を離すとどこまでも行ってしまいうので、安全上、次男(6歳)と3人で行ける公園は限られています。柵で周りを全部囲んである公園があれば子ども二人をのびのびと遊ばせられるのにと常日頃から思っています。

■ 情報

- ・ インクルーシブという言葉は共通言語ではない。市民に言葉の意味、目的を知ってもらう必要がある
- ・ 障がいに関する知識や情報について、知ってもらうきっかけの場となる必要がある
- ・ 継続的に、様々な人が関りながら取組みを続ける必要がある

インクルーシブという言葉の意味が分からない

ヘルプマークをつけている意味の説明文、看板など子供にもちゃんと意味が分かるようにしてほしい。

1回目の実証実験は係の方がいたり人数制限があったため安全に遊ぶことが出来ましたが、今回2回目の実証実験では誰もいなくてアスレチック滑り台で鬼ごっこをしていたり順番を抜かされたりして子供が滑り台から落ちかけました。

保護者の方に体の不自由な子もいて危ないから注意してもらえるように声掛けしましたが「危ないと思うなら危ないところで遊ばせろ」と言われ、子供も滑り台から落ちそうになったことが怖かったようで帰ると泣き出し遊ぶことが出来ませんでした。他にも装具をつけた子などいましたが、危なくて遊べる状況ではなく隅の方で眺めてるだけでした。インクルーシブ公園がどんな所なのか、子供たちだけでなく保護者たちにもきちんと理解してもらう必要があると思います。

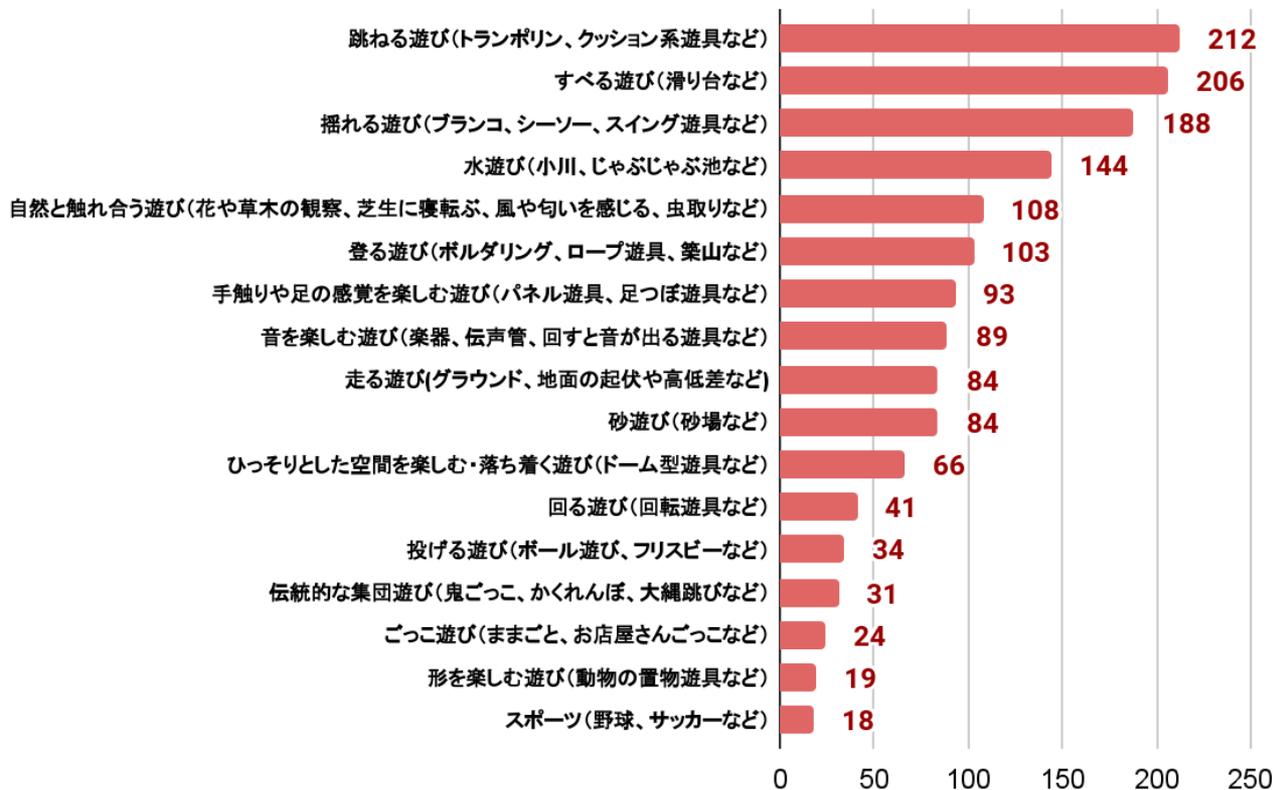
今回のような状況だとインクルーシブ公園が出来たとしても休日には怖くて連れて行ってあげることが出来ません。

障害児を持つ親としてインクルーシブ公園の取組みは非常にありがたく、どんどん広がればいいなと感じています。

ただ、利用した日が、混雑している日で、回転遊具を利用したかったのですが、回転遊具が常に満員でかつ早いペースで回されていたので、重度の障害を持つ子どもが入る余地がなく、利用できずに帰宅しました。インクルーシブという概念からも、障害児を優先させるのも趣旨から外れるし違うと考えていますが、ではどうやって健常児と一緒に障害児が遊んでいく環境を作るか、というのが課題だと思います。遊具を設置するだけでなく、保護者も含めた利用者の意識を高めていけば、多少解決できるのかな、とも感じました。

その点、ブランコは順番に並べば必ず利用できるため、列に並び、利用できたときは子どもはとても喜んでいました。

■ 誰もが遊べるインクルーシブな遊具広場にとって重要だと思われる遊びを、最大で5つお選びください。



■ 重要な遊びについて

- ・ 要望は様々なので、ここでの紹介内容は極一部である
- ・ 五感を刺激する遊びも重要な要素となる
- ・ 水遊び、水に触れる事も重要な要素となる

水に興味があるので安全な水場があって生き物がいると嬉しいです

音を楽しむ遊びの場所は離れた場所に設置していただきたいと思います。音の大きさにもよりますが、音に過敏な子どもたちには辛いです。

ふあふあドームが大好きで、飽きずにずっと飛んで揺られているので作って欲しいです

太陽の光を利用した下から見上げて楽しむ、カラフルな遊具

鉄棒など握力を鍛えら遊具 スラックラインのような平均台やアスレチック

感覚を刺激したり、落ち着けたりする遊び。

視覚障害があり、耳からの情報が全てなので、音の出る遊びはとても良いと思います。また、身体も不自由で遊具などでは遊べないので、静かに座って遊べる場所があればいいなと思います。その場合は介助する大人が支えたり抱えたりしなければならないので、そういったスペースの配慮が必要だと思います。

障害児は感覚遊びが好きなので、音や、感触系がいいかなと思いました。

ペースが早い子供と遅い子供がいるので、一緒に遊べない場合もあるのですが、区別や差別付けたらかわいそうなので、両方あれば良い